電子カルテ・クラーク養成講座（入門）

Produced by LINQUA Study

MICT
CONSULTING

（０）はじめに

Produced by LINQUA Study

現在、わが国では超高齢社会に伴い、労働人口の減少が進んでおり、政府は「働き方改革」を急ピッチで進めています。政府は、残業時間の減少や有給休暇の消化の義務化、確実なインターバル（休憩）など環境整備を中心に進めています。その流れに対応するためには、医療機関も生産性の向上に取り組む必要があります。そこで、生産性向上のひとつの施策として、「電子カルテのクラーク運用」に注目が集まっています。

「電子カルテのクラーク運用」とは、医師の負担軽減と診療のスピードアップを実現する仕組みです。

MICT
CONSULTING

電子カルテは全員で操作する時代

Produced by LINQUA Study

1970年～
紙カルテ+レセコン時代

2000年～
電子カルテ時代

2008年～現在
電子カルテ＋クラーク時代

レセコン時代は、紙カルテに書かれた内容を医療事務がレセコンに入力してきました。電子カルテが誕生してからは、医師がカルテの記載とレセコンの入力を同時に行う必要が生まれ、医師の負担が増えています。そこで、診療を効率化させるためには、医師の隣に医療クラークを配置し、電子カルテ操作を代行させることで、医師は診療に集中できる環境を作り出せると考えます。

MICT CONSULTING

電子カルテ時代、医師の負担増による問題点

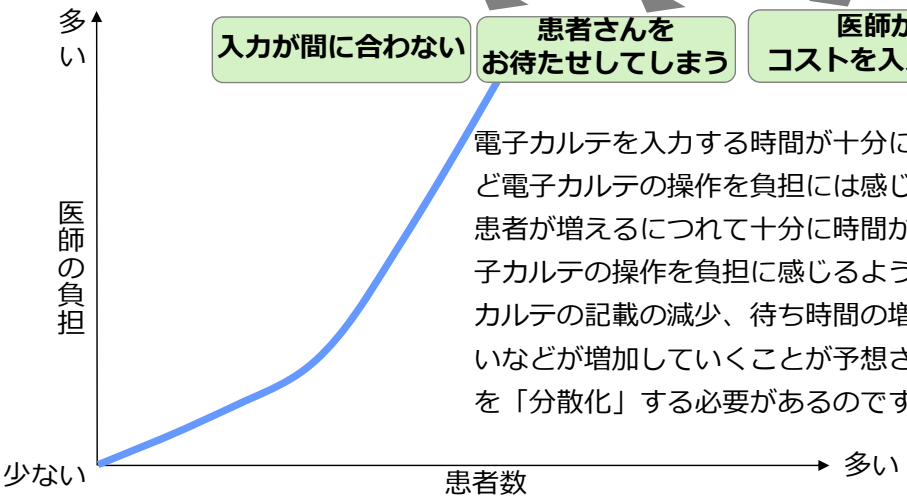
Produced by LINQUA Study

急激に医師の負担が増えていく

入力が間に合わない

患者さんを
お待たせしてしまう

医師が
コストを入力する

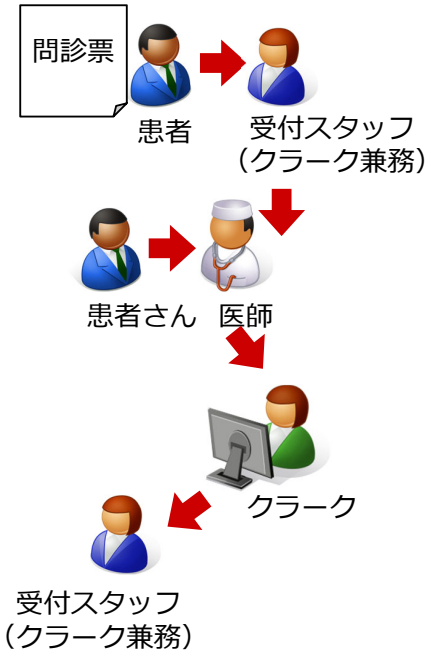


電子カルテを入力する時間が十分に取れる場合、それほど電子カルテの操作を負担には感じないかもしれません。患者が増えるにつれて十分に時間が取れなくなると、電子カルテの操作を負担に感じるようになります。結果、カルテの記載の減少、待ち時間の増加、レセプトの間違いなどが増加していくことが予想されます。医師の負担を「分散化」する必要があるのです。

MICT CONSULTING

診療所のクラーク運用とは？

Produced by LINQUA Study



①問診票の内容を確認し、追加問診を実施。
電子カルテに主訴【S】として登録します。

②医師は問診内容（過去カルテ）を確認しながら診察を進め、所見【O】、指導【P】、オーダーなどの内容をクラークに指示します。

③クラークは医師の指示に基づき、電子カルテに入力します。

④クラークはレセプト請求を意識して、点検をしながら足りない部分を補います。

MICT CONSULTING

クラークに求められるスキル（１）

Produced by LINQUA Study

（１）患者の訴えを主訴（S）に入力できる

（２）医師の発言・行動を所見（O）に入力できる

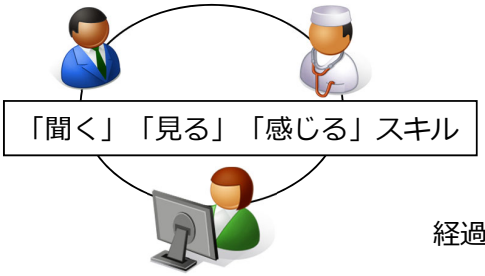
（３）医師の診断結果を評価（A）に入力できる

（４）医師の指導・見通しを計画（P）に入力できる

MICT CONSULTING

クラークに求められるスキル（２）

Produced by LINQUA Study



経過欄とオーダ欄を合致させるスキル

（１）主訴と検査、画像、処方

（２）所見と検査、画像、処方

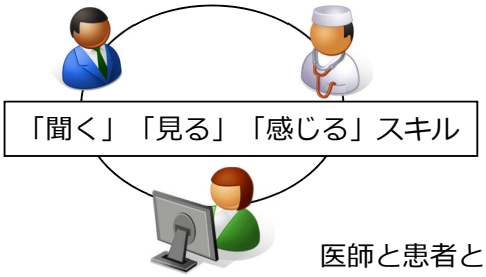
（３）評価と病名

（４）指導と管理料

MICT CONSULTING

クラークに求められるスキル（３）

Produced by LINQUA Study



医師と患者と共感できるコミュニケーションスキル

（１）患者の訴えをカルテに記載するための傾聴スキル

（２）医師の思い描くカルテを作成するための聞くスキル

（３）診療の流れを理解し、先回りできるスキル

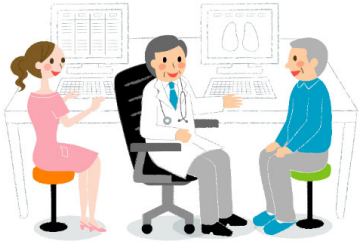
（４）医師の指示に基づき関係部署と連携できるスキル

MICT CONSULTING

診療スピードを一段上げる方法

Produced by LINQUA Study

電子カルテの代行入力



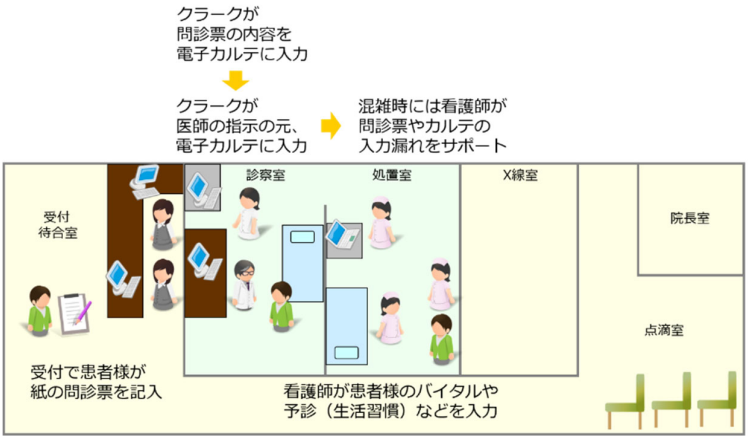
電子カルテの入力をクラークが代行することで医師が診療に専念できる環境がつくれるため、診療スピードをアップできます。

MICT CONSULTING

診療スピードを一段上げる方法

Produced by LINQUA Study

看護師がサポート



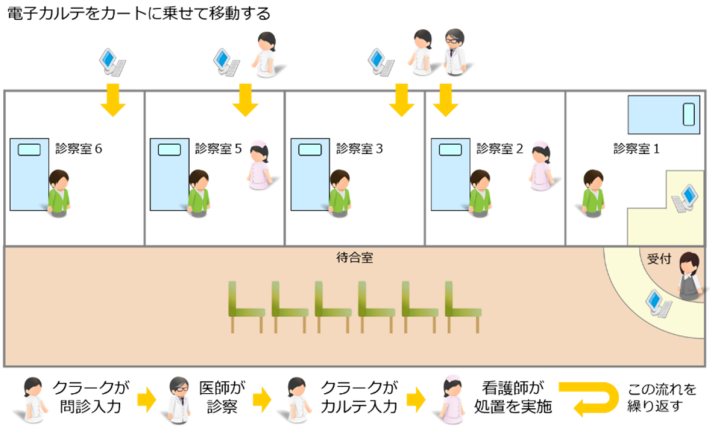
混雑時には看護師がクラーク業務をサポート。
助け合いの精神でスピードアップ。

MICT CONSULTING

診療スピードを一段上げる方法

Produced by LINQUA Study

複数診察室を医師が移動

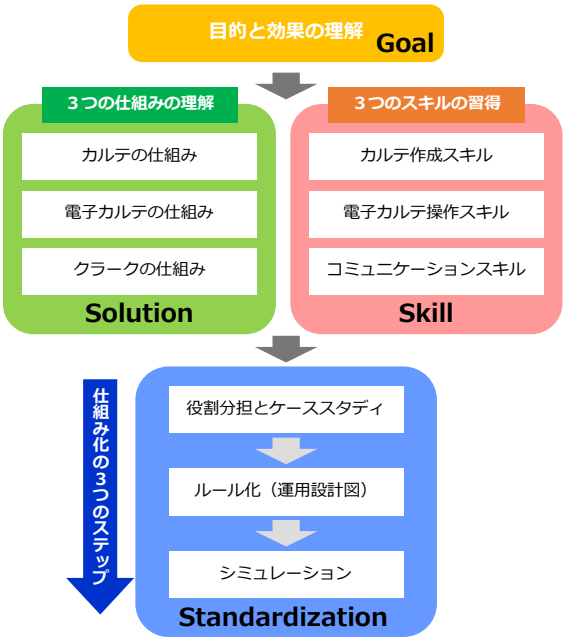


医師、看護師、クラークがチームを組んで診療にあたる。それぞれの役割を全うすることで効率が上がりスピードアップ。

MICT CONSULTING

研修コンセプト

Produced by LINQUA Study



「電子カルテクラーク養成講座」はもともと通学や訪問で行っていたプログラムをE-ラーニングでもできるように忠実に再現したものです。
貴院の電子カルテのクラーク運用が実りあるものになるよう、ご活用いただければ幸いです
※一部、ワークやシミュレーションなどE-ラーニングでは難しいものは省略しております。

MICT CONSULTING

講師紹介

大西 大輔（MICTコンサルティング㈱　代表取締役）

プロフィール：
一橋大学大学院MBAコース修了後、医業経営コンサルティングファーム「日本経営グループ」入社。医療IT機器の常設総合展示場「MEDiPlaza（メディプラザ）」設立。東京、大阪、福岡の3拠点を管理する統括マネージャーに就任。 医師の右腕を育成する「電子カルテクラーク導入プログラム」開発。2016年にコンサルタントとして独立し、「MICTコンサルティング㈱」を設立、現在に至る。

過去３０００件を超える医療機関へのシステム導入の実績から、医師会、保険医協会などの医療系の公的団体を中心に講演活動および執筆活動を行っております。また、診療所・病院のコンサルティングにおいて、看護師、リハビリスタッフ、事務員に対して、診療報酬点数、診療録の記載などの指導を行っています。

MICT
CONSULTING

Memo

MICT
CONSULTING